

# 第一次佐賀市 総合計画を 改訂しました

との合併にともない

川副町・東与賀町・久保田町

平成19年10月1日に、佐賀市、川副町、東与賀町、久保田町が合併し、新しい佐賀市がスタートしました。そのため、新市のまちづくりの指針である「第一次佐賀市総合計画」の改訂作業を行ってまいりました。  
今回は、9月議会において承認いただいた計画の改訂の概要についてお知らせいたします。

総合計画では目標年次である平成26年の佐賀市の将来像を、  
“人と自然が織りなす「やさしさ」と活力にあふれる  
まちさが”  
と定めており、その将来像を実現するため、施策ごとに数値目標を定めて、進捗管理を行っています。

総合計画では目標年次である平成26年の佐賀市の将来像を、  
“人と自然が織りなす「やさしさ」と活力にあふれる  
まちさが”

の合併に伴い、合併協議会で策定した合併新市基本計画をふまえ改訂を行つたものです。

## ■総合計画の特徴は?

総合計画では目標年次である平成26年の佐賀市の将来像を、  
“人と自然が織りなす「やさしさ」と活力にあふれる  
まちさが”

の合併に伴い、合併協議会で策定した合併新市基本計画をふまえ改訂を行つたものです。

## ■総合計画って何?

総合計画は市役所の「行政経営の指針」であるとともに、市民のみなさんと理念を共有する「まちづくりの指針」でもあります。

佐賀市の総合計画は、平成17年

の佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村との合併に伴い誕生した佐賀市で、平成18年に策定したものです。今回は、平成19年の合併に伴い、合併協議会で策定した合併新市基本計画をふまえ改訂を行つたものです。

## 【防災体制の充実】

有明海に広く面することにより、その豊穣の恵みを受けることになりましたが、同時に、海の災害に対する備えも必要となります。

・塩害や高潮への対策の記述を追加しました。	漁業生産額 (2014年)
	28億円 ↓ 153.5億円

本市は、有明海に広く面すことになり、水産業が本市において更に重要な産業となりました。特に海苔生産は県内の約7割を占めることになりました。

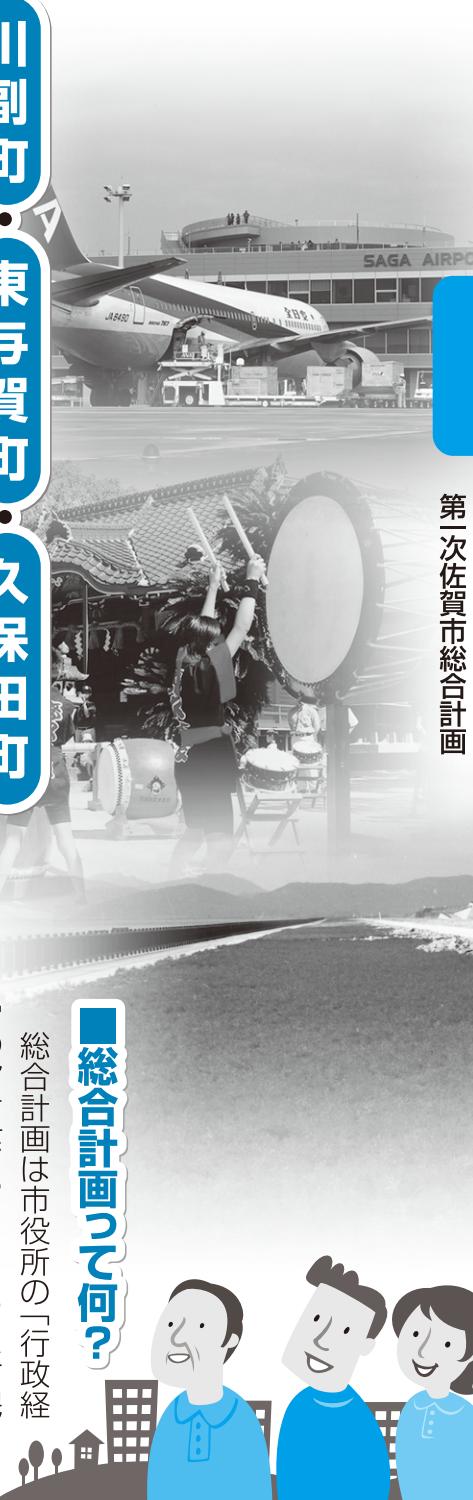
## 【農林水産業の振興】

(主な変更点)

本市は、有明海に広く面することになり、水産業が本市において更に重要な産業となりました。特に海苔生産は県内の約7割を占めることになりました。

第三次佐賀市総合計画

## 【南部3町との合併でどこがかわったの?】



第三次佐賀市総合計画